

第6回

じょうどう

杖道体験講習会

無料

第6回目となる、杖道（全日本剣道連盟）の体験講習会を開催いたします。

杖道は、4尺2寸1分(約128センチ)の白樫の丸棒を用いる、神道夢想流杖術を元にした現代武道で、形を何度も繰り返すことにより修練します。

興味のある方は、これを機会に少しでも杖道（じょうどう）に触れてみてください。

※再受講の方も歓迎いたします。

開催日時： 平成30年3月25日(日) 午後1時～午後3時30分（12時30分より受付）

開催場所： 大阪市東成区中本4-1-8 森ノ宮医療学園専門学校 アネックス校舎 柔道場

参加要領： 杖など用具は当方で用意します。動きやすい服装でお越し下さい。

（柔道着、剣道着、体操服など）

申込要領： 下記事務局までハガキ、電話、FAX、Emailなどで申し込んでください。

（締切 3月10日必着）

※ 申込の際には、スポーツ保険を適用する関係上必要となりますので、氏名、性別、年齢および連絡先を明記してください。（保険料は不要です）

申込先： 関西杖道連盟事務局 【公益社団法人 大阪府剣道連盟 登録団体】

〒581-0037 八尾市太田6-146 近藤眞佐雄 方

FAX：072-948-1955 TEL 090-3288-2068

Email：kansai.jodo.jimukyoku@gmail.com



※ 過去の杖道体験講習会の模様は、公益社団法人大阪府剣道連盟ホームページ及びYouTubeで見ることができます。YouTubeでは「杖道体験講習会」で検索してください。

【杖道解説】

神道夢想流杖道

神道夢想流杖道は、今から約四百年ほど前、夢想権之助勝吉によって創始されました。

夢想権之助は、はじめ鹿島香取の剣術を使いましたが、あるとき、宮本武蔵と立ち会い、二天一流の十字留めにかかって敗れ、以来これを破るため諸国を武者修行して福岡の大宰府にある宝満山竈門神社に祈願参籠して、杖術を編み出し、のち遂に宮本武蔵の十字留めを破ったと伝えられています。

杖道は長さ四尺二寸一分（一二八センチ）直径八分（二・四センチ）の白櫨の丸木を武器とする槍・薙刀・太刀の特徴を兼ね備えた武道で、昭和初期には海洋少年団やボーイスカウトで、最近では警察で使用する警杖としても使用されてきました。現在の杖道は、全日本剣道連盟の一分野として、全国各地で行われています。

神道流剣術

神道流剣術は、天真正伝神道流の開祖・飯篠山城守家直の流系であった上州真壁の桜井大隈守の門人、夢想権之助勝吉が受け継ぎ、以来神道夢想流の師範家に伝えられてきました。

この剣術形は大太刀の形八本、小太刀の形四本、計十二本あり、神道夢想流杖道の奥伝の中で習う太刀の操法です。

一角流十手術

一角流十手術は、夢想権之助勝吉の孫弟子にあたる松崎金右衛門重勝がはじめた流儀で、他の武術と同様、神道夢想流の師範家に伝えられてきた武技です。

技は表十二本、裏十二本、合計二十四本あり、十手だけの技、十手と鉄扇二本を使う技、捕縄と組み合わせた技があります。

一心流鎖鎌術

一心流鎖鎌術は、中條流の祖、念阿弥慈恩が創始者と伝えられていますが、学説では丹一心といわれています。

一心流が使う鎌は両刃で防御用の鉤がついており、柄の下から長さ一丈二尺（三・六メートル）の鎖と、その先には三十匁（百十グラム）の分銅がついています。

鎖で刀身をからめて自由を奪ったり、鎌で太刀を受け止め、分銅で相手を攻撃したり、あるいは分銅を振り込んでたじろぐ相手に打ち込むなど技も多彩です。

内田流短杖術

内田流短杖術は、神道夢想流杖術の師範であった、内田良五郎が明治維新後、日常盛んに用いられたステッキの護身操法として杖術の技を用いて創始した武術です。

長さ三尺（九十センチ）の杖を使って、打ち、突き、払い、あるいは関節の逆をとって相手を動けなくするなど、杖術の特徴をそのまま生かした多彩な技を持っています。

この他、中和流短剣術、一達流捕縄術も伝承しています。